

津軽みらいの  
わらしこ



板柳町常海橋

くめ た かがみ  
久米田 鏡ちゃん(9ヶ月)  
かおる  
薫くん(6歳)

久米田 航さん・憂美さん夫妻の子供  
組合員名：久米田 航さん

わんぱくでやんちゃっ子の鏡ちゃん♪伺った時も元気にハイハイして動き回ってました☆「人の心を映し出す鏡のような人になってほしい」というご両親の想いが込められています。大好きなお兄ちゃんの薫くんと仲良くね♪

いつまでも元気でいてネ!

文芸の広場

短歌

青空にくっきり浮かぶ田圃アートの  
ローマの休日のバイク二人  
ねぶた祭り津軽の里も静かなり  
お山参拝と十五夜待つとど  
赤き林檎を一口喰んで味わいて  
古き良き昔想い出してる  
四秋茄子を嫁に食わずな諺だが  
今日も食べる食卓の一品に  
台風で林檎落下涙流し  
拾い集めたも年月は流れたり  
津軽の桃甘い香りの水々しさ  
津軽みらいの希望の果物  
母の背で戦後になりし復員の  
父に抱かれたも後期高齢者  
お盆来て迎え火送り火皆終えて  
肌を感じる風は初秋なり、  
櫻庭き彥

僅かなる幸せに笑む主婦一人  
ラジオの演歌に耳傾ける  
黒星に悩み尽せぬ農なれど  
離しも出来ず苦勞の連発  
実すぐりも漸く終えて一休み  
何からやろうか会話の弾む  
ポランテアデーサーピスのコーヒーを  
飲ませて今日も楽しく終わる  
神の杜文豪の句碑寂として  
何か語らむ夏の終わり  
工藤キヌエ

川柳

畑鋤く隣りの友もわれも又  
老いてもしっかりと秋野菜蒔く  
ようやくにメロン香ればお先にと  
ねずみに味見され口惜しい  
太陽をわが畑に多く呼ぶように  
反射シートを競って敷きぬ  
小野シミエ  
絵日記幼き頃の夢がある  
沈下橋昔も今も生ざる糧  
奉仕よりレールに乗って富増やす  
ホラは吹く本音で生きる我が誠  
語り部や酔いが増します祝い酒  
過疎地には大歓迎のコノトリ  
津軽路や実る稲穂に赤りんご  
覚蓮坊

まだ希望あるから迷う交差点  
つまづいた小石が年を聞いてくる  
物忘れ届かぬ叫び拉致家族  
失敗は生きてる証と励まされ  
反省の二文字背負って里帰り  
工藤キヌエ  
投稿される皆様へ 短歌、川柳など毎月の投稿  
ありがとうございます。クロスワードクイズ応  
募用紙と同じ住所へ投稿してください。(JA  
津軽みらい文芸広場宛)また、読みづらい漢字  
には必ずフリガナをお願いします。次回は11月  
に掲載となります。よろしくお願ひします。